

### 平成22年度の予算質疑

**Q** 産業史料館の平成21年度入館者数と入場者を増やす取り組みについて。

**A** 2月末までの総入館者数は11,275人で、うち特別展の入館者は8,499人だった。今後は産業観光の拠点施設として位置づけ、観光ルートに乗せられるよう検討していきたいと考えている。



**Q** 図書館の図書購入費が前年の1,600万円から600万円減額の1,000万円となっている。教育立市の宣言をしながら減額するのはおかしいのではないか。

**A** いろんな事情でこうなった。3図書館で重複しないよう整備させていただきたい。



**Q** 磨き屋一番館で、研修終了となる6人の1期生の就職予定と、22年度の研修申し込みについてはどうか。

**A** 1名は開業、2名は内定、ほかは検討中と聞いている。今年度の申し込みは7人で、燕市から3名、三条市から2名、新潟市1名、加茂市1名である。

**Q** 旧燕工業高校施設の再利用計画は。

**A** 再利用と活用については決定しているが、今のところは庁内検討委員会の考えをまとめているところだ。

**Q** 南幼稚園は3年間、南小学校で保育されることになっているが、その後の方向性は早急に決めるべきではないか。また、園舎はいつごろ解体されるのか。

**A** 統廃合について新市長に計画の報告をし、保護者とも協議していきたいと考える。解体は騒音や大型重機も入ることから、夏休みを想定している。

**Q** 21年度は新型インフルエンザが猛威を振ったが、子どもたちへの接種実績と新年度の対策はどうか。

**A** 「季節性」は12月末で4,476人、「新型」は2月末現在12歳までが3,248人、13歳から15歳が427人接種した。新年度については1人1,000円の補助で700万円を計上した。

予算は、市民の皆さんの生活に直接かかわるものです。議会は燕市全体を考え、市民の幸せにつながる堅実な予算編成であるかを十分に審議する必要があります。開発や産業振興の反面、教育や福祉、環境問題に対してはどうか。また、公共施設の整備や土木工事がどの程度進んでいるのか。それらが市民にとって本当に必要なものなのか。予算審査特別委員では3日間にわたり、さまざまな角度から十分に審査しました。

**Q** 合併して4年経つ。燕と分水には観光協会があるが、吉田地区にはないままである。燕市として観光協会の一本化が急がれるのではないか。

**A** 現在の問題点を挙げて新市長に申し送りする。両協会の交流もあり、商工会議所では産業観光課を立ち上げると聞いているので、一本化を目指していきたいと考えている。

**Q** 「水道の塔」については改修費用が予算化されていないがどうなるのか。

**A** 「政策的事業」なので新市長の考えのもとで進めたい。

**Q** 市街地雨水対策事業費400万円が計上されているがその内容は。

**A** 分水笈ヶ島、新興野地区の雨水対策調査費として計上した。大通川の改修は終わっているが、分水地区は最上流部にあたるため、下流で雨が降っても水が溜まる状態となっている。



# …安心・安全な暮らしのために… 市の予算をしつかり検証！

予算審査特別委員会から 平成22年度の予算質疑